

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		はぐくみの家 オリーブ		公表日		2025年 9月 19日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2	活動内容に合わせグループを分けて活動している	集団で運動や遊びなどの活動をする十分なスペースが不足している
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		異食や他害がみられるこどもが利用しているため従業員の数が規定の配置よりも必要な場面がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	空間は運動などの活動が出来るほど十分広くないが、事故などが起こらないよう監視が行き届くようにしている。	階段を上る必要がありこどもによっては環境が十分ではない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		終業後に薬剤等を用いて清掃をすることで清潔な環境を保っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		クールダウン等が必要な場面は子どもが自分で考えて移動できるようになっている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	こどもの特性や言動についてなどその都度、職員間で話し合い、振り返りを行っている。	全ての職員が情報共有の場面に参加できるよう業務分担等の改善を図る必要がある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者から、事業所内の構造等の質問があったため、公開する機会を設けた。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	他者の意見を尊重し合い、個々が意見を言えるような場面を設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	同一法人他事業所との情報交換等から相互評価を行っている。	市や区役所、他の事業所等から情報収集を行い、外部評価をやって頂ける機会を設ける必要がある
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		長期休みなど活動予定を周知出来ている。支援プログラムはHPにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		課題の分析のため職員間で意見を共有する場面を定期的に設けている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		課題の分析のため職員間で意見を共有する場面を定期的に設けている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2		標準化されたツールの有効活用をする場面が少ないため今後増やしていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	2	立案されたプログラムをその都度話し合いをしながら、他の職員に概要を伝え、共有している。	プログラム立案者が偏ってしまっているため、チームで検討する場面を増やしていく。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		日々新しい活動プログラムの立案をするようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1		個別活動をする時間や環境整備が不足しているため、長期休み等を利用して調整していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2	送迎等で打ち合わせが難しい場合は前日に打ち合わせを行い、また書面で情報交換を行っている。	送迎の時間がずれている等の理由で支援前の打ち合わせが困難な日が生じている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	当日営業終了後に打ち合わせが困難な場合は翌営業日に打ち合わせを行うようにしている	業務終了時刻が従業員によって違うため支援終了直後の打ち合わせが困難である。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1	自由時間にどのように過ごすかやおやつなど自己選択出来る場面を日々設けている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児発管以外の従業員も必要に応じてサービス担当者会議等に出席している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	保護者を通じて主治医など医療機関と連携を行っている。	医療機関以外との関係機関と連携できる体制を整えていく必要がある
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3		他施設との情報共有の機会を拡充する必要がある
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	相談支援事業所を通じて情報を提供している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	相談支援センターと連携・情報交換を行うことが出来ている。	研修を受ける機会がないため、今後機会を設けていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		他施設または地域の子どもの交流機会の創設が必要
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4		今後積極的に参加していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		今年度保護者会の開催予定している。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			契約時のみに限らず、更新時や日々の利用時なども含めて丁寧な説明を行っている
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2		今年度保護者会の開催予定している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月通信を作成・配布している 長期休みにはアルバムを作成・配布している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		地域住民が参加可能なイベントや避難訓練等を検討し開催していく必要がある
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		お薬手帳や医師の指示書などを事前に確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			安全計画の活用を研修・訓練を通じて図っていく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		家族への安全計画の周知が不十分な面があるので今後お便りなどを作って周知出来るようにしていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		個別支援計画への記載、説明とともに日々の様子などを伝達し必要性などを保護者に十分に説明し同意を得ることが出来ている	